

趣旨・目的

- 継続して市町社協が人材確保事業に関わり、各地域性に沿った人材確保策を実施できるための取り組みを進める。
- 県域全体を対象とした大規模面談会とは別に、各地域内でのマッチングを目的とした面談会等を実施。

取組内容

○離島を対象とした就職フェアの実施

- ・ 県内の離島にある施設を対象とした就職フェアをオンラインで開催。
- ・ 期間を2か月設定し、施設のPRをHP上に掲載。申し込みフォームを作成し、申し込みがあった際は個別に調整を行った。
- ・ 2名参加、3件面談



○行政とのタイアップ

- ・ 行政が主催する「介護啓発イベント」内のプログラムとして「就職フェア」を実施。
- ・ 当日は現場で働く職員のトークショーや介護ロボット体験等が実施され、福祉の仕事相談だけでなく、福祉そのもののPRにもつながった。
- ・ 来場者300名（内、就職フェア参加者は101名）



○福祉色を控えたイベント

- ・ 福祉色を表に出さず、人気のカフェでマルシェと就職フェアを実施。
- ・ 福祉色を控えた上で、お茶やマルシェを楽しみながら、各法人ブースを周遊した。
- ・ 62名参加



○社協既存事業との連動

- ・ 市町社協が従来から実施している「福祉まつり」と「就職フェア」を連動開催予定。
- ・ 福祉に関心のある住民に対して、福祉職への認知・関心を高めてもらう機会とする。
- ・ 10名参加



人材センターPR

長崎県福祉人材センターでは、この他にも大規模の就職フェアを年に4回実施しています。様々なイベントを企画していますので、福祉のお仕事に興味がある方は是非ご参加ください！

活動指針

- ①社協のネットワークを活用した事業手法の強化
- ④福祉や福祉の仕事についての啓発・魅力発信
- ⑥若者を取り巻く大人への啓発・情報発信
- ⑦魅力発信等事業所の広報活動への支援

取組内容のPDCA

P→開催場所の検討、候補地社協へ打診
D→イベント実施
C→アンケート分析、所員と振り返りを実施
A→課題整理、反省点等を次回イベントへ反映

予算

- ・広報費→1,000,000円
- ・賃借料→100,000円
- ・印刷製本費→100,000円
- ・手数料（介護ロボット手配）→33,000円

今後の展望

地元社協等と連携しながら県内全域で実施していく。最終的には地元社協や行政が単独で就職フェアが実施できるようなノウハウを伝授したい。

趣旨・目的

○求職者が所在地に捉われず、就職活動ができるように支援体制を整備することで、地域に偏りがあった支援状況を改善するため。

取組内容

○市町社協ヘリモート窓口の設置

- ・市町社協へタブレットを設置し、求職者が来所した際は、人材センターにオンラインで繋いでもらい支援を行う。
- ・生活困窮者自立支援事業等、各市町社協が実施している事業の出口支援としても活用。
- ・令和6年度は県内3か所設置予定。

○メタバース相談窓口の設置

- ・メタバースを活用したオンライン相談窓口を設置。
- ・将来的には専門員と求職者の相談だけでなく、事業所と求職者の面談もできるように整備していく予定。
- ・令和6年2月から運用開始（<https://welnaga-meta.jp/>）

人材センターPR

・長崎県の福祉人材センターは、長崎市内にあり、遠方からは来所が難しいこともあるかと思います。今回オンライン相談窓口を整備しておりますので、是非ご活用いただき、お気軽にご相談ください。また、LINEでの相談も行っております。イベント情報等は本会HP「welなが」をご覧ください。

LINE : <https://page.line.me/507iwlhu?openQrModal=true>

HP : <https://www.welnaga.jp/>

活動指針

①社協のネットワークを活用した事業手法の強化

取組内容のPDCA

①市町社協ヘリモート窓口の設置

P→設置場所の検討

D→市町社協へ設置依頼、接続テスト、運用開始

C→利用状況の確認

A→利用促進のための広報を実施

②メタバース

P→運用方法の検討

D→12月末システム納品、1月テスト、2月運用開始

C→運用状況の確認

A→課題整理、システムの修正

予算

①市町社協ヘリモート窓口の設置

・タブレット、モバイルルーターリース料

→1か所 3,740円/月

・市町社協訪問時の旅費交通費

②メタバース

・システム構築費

→1,045,000円

・ランニングコスト（サーバー代等）

→31,000円/月

今後の展望

①・県内21市町社協全てにリモート窓口を設置。（令和7年度は計8か所設置予定）

・利用促進のための広報を市町社協と連携して実施していく。

②・2月から運用していき、利用促進のための広報を行っていく。

・将来的には、メタバース上でも就職フェアを実施できるように整備していく。